



図 1-1) 生田緑地の谷戸における水辺環境の再生・保全活動.



図 1-2, 3) よこみね緑地での保全（はるひ野開発前に生息していた生物の保護）活動.



図 1-4, 5) 黒川谷ツ公園での保全（はるひ野地区在来の生物の保護）活動.



図 2-1) トウゴクヘラオモダカ (生田緑地).



図 2-2) オモダカ (麻生区黒川).



図 2-3) ツリフネソウ (生田緑地・谷戸).



図 2-4) キクザキイチゲ (生田緑地・雑木林).



図 2-5) 明るい林床で開花したフデリンドウ.



図 2-6) 同, 開花後 (ともに多摩丘陵).

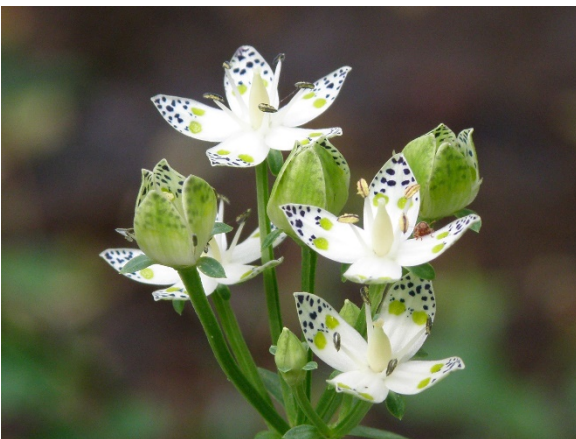


図 2-7) アケボノソウ (生田緑地・谷戸).



図 2-8) キッコウハグマ (生田緑地・雑木林の林縁).



図 3-1) 湿田にすむシオヤトンボの羽化 (生田緑地).



図 3-2) シオヤトンボ 成熟♂ (生田緑地).



図 3-3) 小川に生息するヤマサナエ 未熟♀ (生田緑地).



図 3-4) 湧水を好むオニヤンマ ♂ (生田緑地).



図 3-5) 湿田を好むマユタテアカネの交尾 (生田緑地).



図 3-6) オオアオイトトンボ 成熟♂ (生田緑地).



図 3-7) オナガサナエの交尾 (生田緑地).



図 3-8) クロスジギンヤンマ 成熟♀ (生田緑地).



図 4-1) アズマヒキガエル (生田緑地).



図 4-2) ニホンアカガエル (麻生区黒川).



図 4-3) シュレーゲルアオガエル (生田緑地).



図 4-4) ニホンアマガエル (生田緑地).



図 4-5) ニホンカナヘビ (生田緑地).



図 4-6) ヒガシニホントカゲ 幼体 (生田緑地).

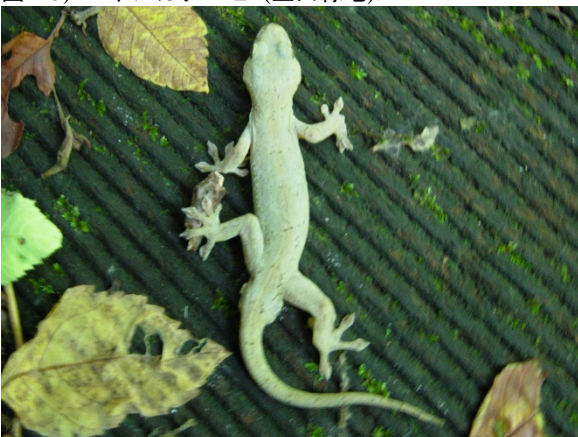


図 4-7) 国外外来種とされるニホンヤモリ (生田緑地).



図 4-8) アオダイショウ (生田緑地).



図 5-1) 水辺を好むシマヘビ (生田緑地).



図 5-2) 同, 幼体 (生田緑地).



図 5-3) 乾燥地を好むシロマダラ (生田緑地).



図 5-4) 水辺や暗い樹林を好むヒバカリ (久末緑地).



図 5-5) 湧水に生息するホトケドジョウ (生田緑地).



図 5-6) マルタニシ (麻生区はるひ野).



図 5-7, 8) ムラサキシキブを食べるイチモンジカメノコハムシ (左: 成虫, 右: 蛹) (生田緑地).

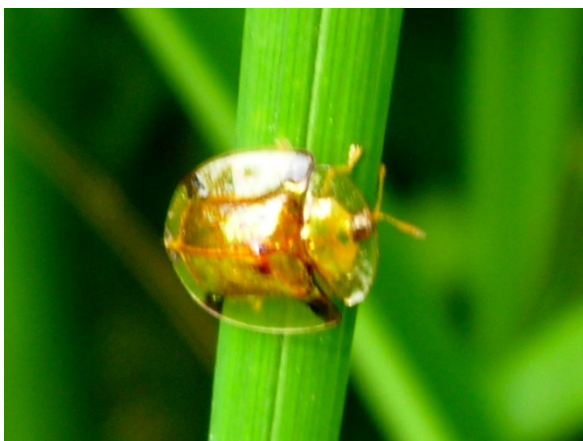


図 6-1, 2) ヒルガオを食べるジンガサハムシ (生田緑地).



図 6-3) 低湿地に生息するスジグロボタル (生田緑地).

図 6-4) 湿地を好むヤトセシジョウカイ (生田緑地).

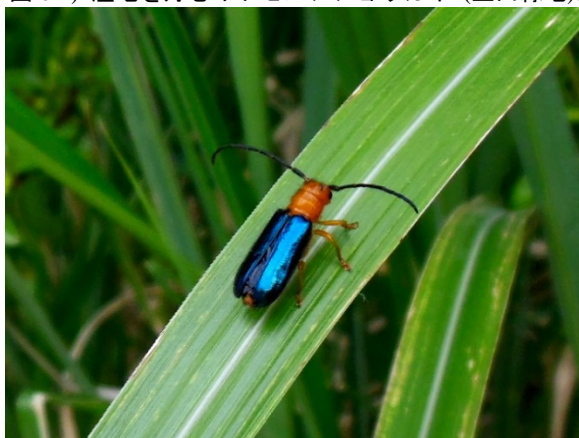


図 6-5) さいわい夢ひろば (幸区) での調査活動.

図 6-6) 都市部でも増えているルリカミキリ (幸区・さいわい夢ひろば).



図 6-7) 二ヶ領用水 (多摩区中野島).

図 6-8) 市内におけるセキシヨウモ (二ヶ領用水).



図 7-1, 2) 稀に通過個体が見られるミゾゴイやヨタカ (ともに生田緑地).



図 7-3, 4) 冬季の谷戸で観察されるヤマシギやベニマシコ (ともに麻生区黒川).



図 7-5, 6) 冬に見られるトラツグミやキレンジャク (麻生区黒川, 生田緑地).



図 7-7) キマユムシクイ (生田緑地, 2014 年).

図 7-8) コホオアカ (生田緑地, 2013 年).



図 8-1) 川崎区大師河原 (多摩川河口) に広がるヨシ原.



図 8-2) 同, 多摩川河口に現存する干潟.



図 8-3) 多摩川河口に自生するジョウロウスゲ.



図 8-4) 多摩川河口に自生する海浜性のハマボウ.



図 8-5) 干潟に生息するアシハラガニ (多摩川河口).



図 8-6) 稀な迷入種のヘラサギ (多摩川・河口干潟).



図 8-7, 8) 干潟でみられるアオアシシギやキョウジョシギ (ともに多摩川河口).

